

企画展

狩野元昭と大安禅寺の名画

- 会場 1階 松平家史料展示室
- 会期 令和5年6月8日(木)
～令和5年7月23日(日)
- 館日 6月19日(月)・20日(火)

狩野元昭は、江戸時代前期に活躍した福井藩の御用絵師です。狩野元昭の活動期は、4代福井藩主松平光通が越前松平家の永代菩提所として、名僧大愚宗築を開山に迎えて大安禅寺(福井市田ノ谷町)を建立した時期にあたります。そのため、大安禅寺には本堂襖絵の他、藩士らによって寄進された元昭作品が多く遺されています。元昭作品以外にも、大安禅寺には歴代の福井藩主や藩士、その家族らが寄進した絵画や道具類が数多く伝わっており、江戸時代福井の文化をうかがうことができます。

本展では、大安禅寺の貴重な文化財の中から、今年5月に福井県指定文化財に指定された狩野元昭の作品と、元昭とほぼ同時期に活躍した久隅守景が描いた故事人物花鳥図押絵貼屏風を紹介しま

かのうもとあき (元和9年～天和元年・1623～81年)
【狩野元昭】 通称：九郎次郎 号：了海・即翁斎

福井藩の御用絵師は、寛永15年(1638)に3代藩主松平忠昌が狩野了之を200石で召し抱えたことに始まります。了之は狩野派の絵師渡辺了慶の子で、狩野光信に学んで狩野の姓を許されました。

元昭は了之の長男で、絵は父に学んだ後、幕府の奥絵師・狩野安信に入門しました。父了之が万治3年(1660)に没すると、その跡を継いで150石で福井藩御用絵師となりました。ただ、すでに正保2年(1645)には病の父了之に代わって、藩の御用を担っていたようです(『越前人物誌』)。

大安禅寺の建立は福井藩の一大事業でした。万治元年から3年にかけて本堂や庫裏など主要な建物が造営され、その後も17世紀末ごろまで建物の整備が行われました。それに合わせて、光通や5代藩主昌親、藩士らから絵画をはじめとした宝物が寄進されました。大愚も仏具などを寄進しており、その中には大愚が賛を手掛けた絵画もみられます。狩野元昭の活躍期は、大安禅寺が調えられていく時期と重なっています。元昭への福井藩や大安禅寺からの注文による絵画制作や、大安禅寺へ元昭作品が寄進されたことで、大安禅寺には元昭の作品の数々が遺されています。



※狩野光信(1531/65～1608年)
安土桃山時代の絵師。狩野永徳の子。父没後一門を率いて、豊臣秀吉や徳川家康らの御用をつとめた。優美な花鳥画を得意とした。

※狩野安信(1614～85年)
江戸時代前期の絵師。狩野探幽の末弟。將軍家の絵画御用をつとめる奥絵師4家のうち中橋狩野家を立てた。狩野元昭以降、福井藩の御用絵師の多くは中橋狩野家に入門して絵を学んだ。

福井県指定文化財
釈迦・迦葉・阿難図 賛：大愚宗築・絵：狩野元昭
(大安禅寺・当館保管)

くすみりかげ
【久隅守景】 生没年不詳 寛永から元禄期（17世紀）に活躍
通称：半兵衛 号：無下齋・無礙齋・一陳翁・捧印など

江戸時代前期の絵師。出自は不明ですが、狩野探幽^{たんゆう※}の門人となり、師探幽の姪を妻とするなど、探幽門下の有力絵師として活躍しました。探幽や狩野安信らが担った知恩院小方丈（京都）や聖衆来迎寺客殿（滋賀）の障壁画制作に、守景も参加しており、その実力は広く認められました。しかし、後年、家族の不祥事により狩野派一門から離れたようで、金沢や京都で活動しました。

現在知られている守景の初期の画業の一つに、加賀前田家の依頼により明暦年間（1655～58年）に制作した瑞龍寺（富山県高岡）の襖絵があり、現地で制作したと考えられています。晩年に探幽門下を離れた後にも、数年に渡って金沢に滞在しています。この時期に守景の代表作である「納涼図屏風」（東京国立博物館）や複数の耕作図屏風が制作されたとみられており、守景の画業において北陸は重要な場所でした。

今回、福井県指定文化財となった故事人物花鳥図押絵貼屏風は、元禄3年（1694）に福井城より寄進されました（「松山雑記」）。幕末の歌人・橘曙覧も大安禅寺を訪れた際にこの屏風をみており、「大方のところにて守景ぞ」といひて見るとはさらにやうかはりて、まことに魂入れて物しけむ筆の勢い見ゆ」と述べています。現在は失われていますが、大安禅寺には他にも守景作品として維摩図も所蔵されていました（「交割記」）。

※狩野探幽（1602～1674年）

江戸時代を代表する絵師の一人。江戸幕府の絵画御用を勤める奥絵師の一つ、鍛冶橋狩野家を立てた。広い余白と安定感のある構図、肥瘦線による描写は瀟洒淡白とされ、江戸時代を通じて画壇に大きな影響を与えた。大安禅寺には、松平光通が、山大愚宗築のために探幽に制作を依頼した「釈迦・普賢・文殊像」（万治元年・1658制作）が伝わっている。



福井県指定文化財
故事人物花鳥図押絵貼屏風 久隅守景筆
(大安禅寺・当館保管)

次回の展示

夏季特別陳列展① 企画展示室
福井の里山・文殊山ゆかりの神仏

令和5年7月27日（木）～9月3日（日）

夏季特別陳列展② 松平家史料展示室

まぼろしの鉄道

～東北鉄道と明治の福井～

令和5年7月27日（木）～9月3日（日）

主要参考文献

『越前人物志』 福田源三郎 玉雪堂 1910年

『大安禅寺伽藍』 萬松山大安禅寺 2007年

『越前松平家と大安禅寺』 図録 福井市立郷土歴史博物館 2006年

『大安禅寺の名宝』 図録 福井市立郷土歴史博物館 2019年

『久隅守景』(日本の美術No.489) 松嶋雅人 至文堂 2007年

「福井の狩野派資料（一）」『福井市立郷土歴史博物館研究紀要』9号 2001年

展示解説シート No.159 令和5年6月8日発行
福井市立郷土歴史博物館 〒910-0004 福井市宝永3-12-1
電話 0776-21-0489 Fax 0776-21-1489
担当：藤原千穂 印刷/宮本印刷